

令和5年度 要望に対応した新規課題と設定理由(林業)

研究課題名(細目課題名)	要望の概要/設定理由	研究の概要	所属(研究室)	研究期間	試験研究基本計画2025の重点研究目標
エリートツリーの効率的な結実促進技術に関する研究 (雌花形成技術の開発、効率的な交配方法の検討、種子充実度の検討)	(要望の概要)	閉鎖型採種園におけるエリートツリー採種木の結実を促進させるため、乾燥や施肥、薬剤処理等により雌花の形成量を増加させる最適な条件を明らかにするとともに、受粉効率を高める方法等について検討を行う。	技術開発部(森林機能グループ)	2023～2025	ア 循環型林業の推進のためのスマート林業及び木材利用の推進
	成長等の優れたエリートツリー種子を効率的に生産するため、閉鎖型採種園における採種木の結実を促進させる技術の開発を要望する。				
	(設定理由)				
エリートツリーの雄花形成・花粉採取技術に関する研究 (雄花形成技術の開発、花粉採取方法の検討)	(要望の概要)	閉鎖型採種園におけるエリートツリー採種木の雄花の形成量を増加させるため、乾燥や施肥、薬剤処理等による最適な条件を明らかにするとともに、効率的に花粉を採取する技術の開発を行う。	技術開発部(森林機能グループ)	2023～2025	ア 循環型林業の推進のためのスマート林業及び木材利用の推進
	エリートツリー種子の生産量を増加させるため、受粉に必要な花粉を安定的に確保する必要がある。採種木の雄花の形成量を増やし、効率的に花粉を採取する技術の開発を要望する。				
	(設定理由)				
少花粉ヒノキの採種木等の育成技術に関する研究 (採種木の早期充実化手法の開発、採種木の管理手法の検討)	(要望の概要)	少花粉ヒノキの採種木等を早期に育成するため、最適な施肥条件を明らかにするとともに、効率的に種子生産を行うための剪定方法の検討を行う。	技術開発部(森林機能グループ)	2023～2025	ア 循環型林業の推進のためのスマート林業及び木材利用の推進
	花粉症対策苗木を安定供給するためには、少花粉ヒノキの採種木等の育成が重要である。採種木等の最適な育成方法の検討を要望する。				
	(設定理由)				
	少花粉ヒノキの採種木等の育成・管理手法を開発することにより、花粉症対策苗木の安定供給につながり、花粉症発生源の減少に貢献できる。				

<p>早生樹等の生育特性及び強度性能評価に関する研究 (早生樹等の生育特性の評価、早生樹等の強度性能の評価、利用法の検討)</p>	<p>(要望の概要)</p> <p>成長等の優れた早生樹への関心が高まる中、森林所有者の植栽木の選択肢を増やすため、センダン以外の早生樹や有用広葉樹について、生育特性や強度性能の評価を行うことを要望する。</p>	<p>森林所有者の植栽木の選択肢を増やすため、成長等の優れた早生樹やクスノキ等の有用広葉樹について、生育特性や強度性能を評価し、利用法の検討を行う。</p>	<p>技術開発部(資源利用グループ)</p>	<p>2023～2025</p>	<p>ア 循環型林業の推進のためのスマート林業及び木材利用の推進</p>
	<p>(設定理由)</p> <p>センダン以外の早生樹や有用広葉樹の有用性を明らかにすることで、森林所有者の植栽木の選択肢が増え、循環型林業の推進が期待される。</p>				